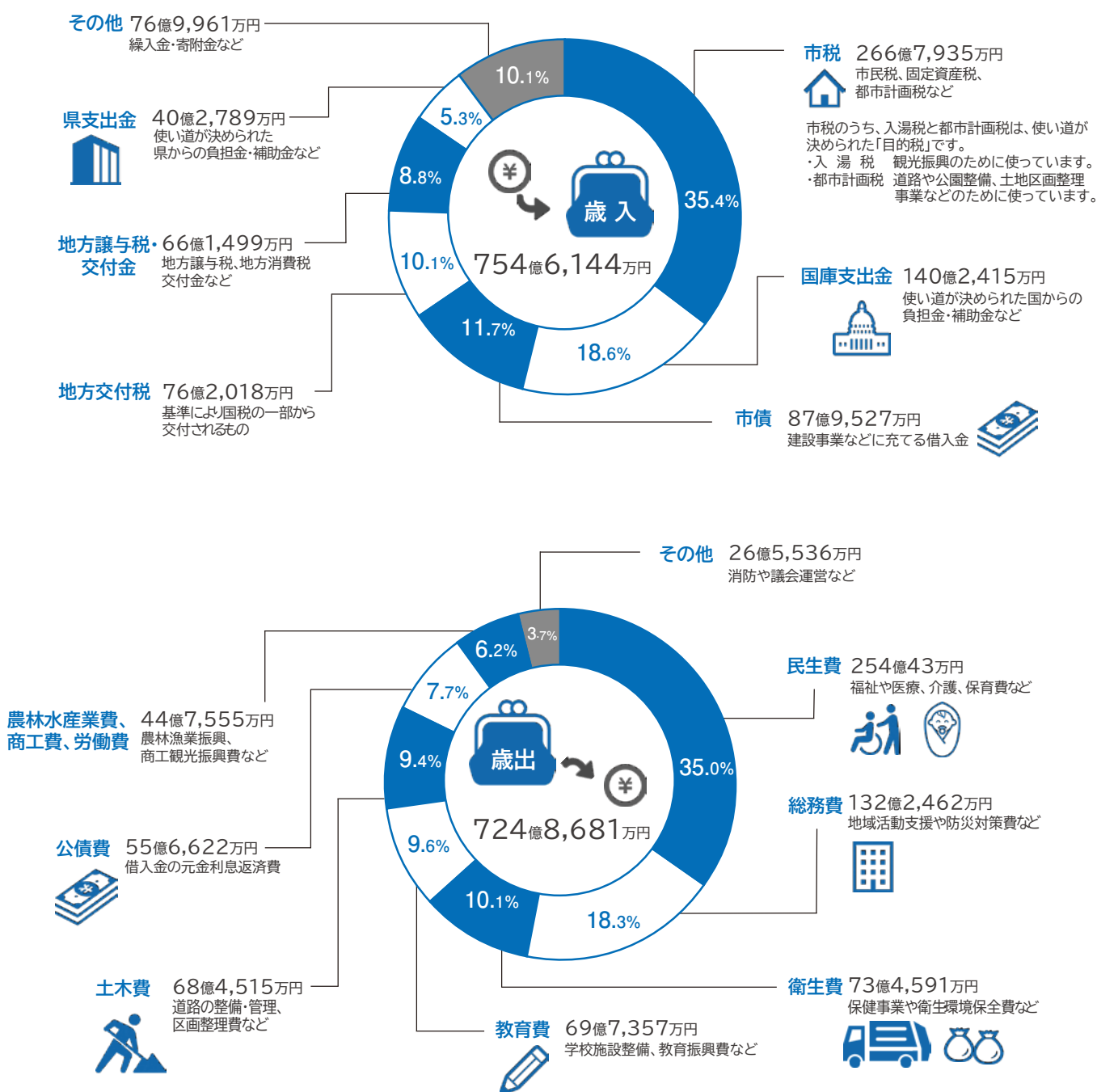


決算報告

皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金がどのように使われたのか、令和3年度における各会計の決算の概要をお知らせします。

☎ 財政課（本庁舎4階） ☎ 0538-37-4883 FAX 0538-37-4876

一般会計決算



各会計の歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	754億 6,144万円	724億 8,681万円
駐車場事業特別会計	8,775万円	8,687万円
国民健康保険事業特別会計	165億 8,525万円	163億 3,648万円
後期高齢者医療事業特別会計	20億 5,097万円	20億 4,255万円
介護保険事業特別会計	135億 3,425万円	130億 2,376万円
財産区(広瀬・岩室・虫生・万瀬)特別会計	121万円	62万円
水道事業会計	36億 4,616万円	43億 6,696万円
下水道事業会計	83億 4,886万円	96億 8,101万円
病院事業会計	202億 8,078万円	207億 9,555万円

歳入と歳出の差額については、令和4年度に繰り越して使ったり、基金に積み立てたりしています。

市債残高

返済しなければならない借入金の残高です。令和2年度末と比べ1億4,314万円増えています。

会計区分	金額
一般会計	567億 6,901万円
駐車場事業特別会計	2億 9,771万円
水道事業会計	69億 8,723万円
下水道事業会計	277億 6,163万円
病院事業会計	90億 2,621万円
合計	1,008億 4,179万円

基金残高

目的のために積み立てている市の「預金」の額です。令和2年度末と比べ2億1,693万円増えています。

区分	金額
財政調整基金	79億 2,431万円
しっぺいこども福祉基金	5億 2,558万円
公共施設整備基金	15億 1,173万円
津波対策事業基金	37億 973万円
その他特定目的基金	8億 9,917万円
国民健康保険事業基金	7万円
介護給付費準備基金	11億 4,311万円
財産区(広瀬・岩室・虫生・万瀬)財政調整基金	555万円
合計	157億 1,925万円

財政力指数 0.823

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どのくらい自力で用意できるのかを示しています。

数値が「1.0」を超えると財政基盤が安定していると判断され、国からは地方交付税が交付されません。

経常収支比率 84.5%

毎年支出しなければならない扶助費や公債費などのために、市税や地方交付税など毎年ほぼ変わらず収入される一般財源をどのくらい使っているかを示しています。

数値が低いほど変化に柔軟に対応できます。

健全化判断比率・資金不足比率

財政の状況がどのくらい健全であるかを示す指標です。

いずれの数値も法律に定められた基準を下回っていることから、磐田市の財政は健全であるといえます。

区分	説明	磐田市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計の実質的な赤字が収入と比較してどの程度あるかを示します。	実質赤字額なし	11.44%	20.00%
	連結実質赤字比率	全会計における実質的な赤字や資金不足額が収入と比較してどの程度あるかを示します。	実質赤字額なし	16.44%	30.00%
	実質公債費比率	収入のうち、どのくらいを借入金の返済に充てているかを示します。	2.5%	25.00%	35.00%
	将来負担比率	借入金など将来負担する可能性がある金額が、年間の収入と比較してどの程度あるかを示します。	数値なし	350.00%	
資金不足比率	公営企業などについて、資金不足額が事業規模と比較してどの程度あるかを示します。	水道事業会計	いずれも 資金不足額なし	経営健全化基準 20.00%	
		下水道事業会計			
		病院事業会計			